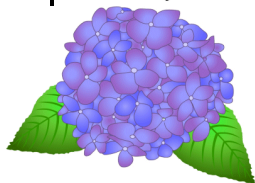




「若どり」

第3号

◎ からだをつくる ◎ 心をみがく ◎ わぎを練る



全校朝礼における校長講話と意見交流

校長 竹之内 勝

本校では、月に1回の全校朝礼で、校長から生徒へのメッセージとともに、生徒同士で意見を交流し、発表する機会を設けています。お子様がどのような意見をもったか、話題にさせていただけたらと思います。その一端を紹介します。

4月16日(月)

新年度が始まり、1週間がたちました。新しい学級、学校には、もう慣れたでしょうか。私は未だに校内で迷子になっています。先週は、各教室で、友達づくりや学級づくりが進んでいる様子を見ることができ、とてもうれしく思っています。

皆さん、この校舎を見てください。この校舎は、1966年に建てられ、52年の間、雨や風、地震等に耐えながら、八中学生を見守ってきてくれました。校長室には、このような図面がたくさん残されています。図面によると、この校舎を建設する際には、まず、地中に数十本の杭を打ち込み、周囲をコンクリートで固めます。その杭は、地中深く、固い岩盤のような地層の深さまで達するように埋め込み、その長さは、20メートルほどになっています。屋上までが約14メートルですから、その1.5倍になります。そのような長い杭が、数十本も固い岩盤まで達しているからこそ、雨や風、地震等が来ても倒れない、安全で安心な校舎なのです。新年度のこの時期、学級づくりも同じです。皆さん一人ひとりが学級を支える杭となり、お互いのために、学級のために、自分の力を発揮する。皆さんの、前向きな思いの、個性豊かな杭がたくさん打ち込まれれば、上に乗る学級という建物は頑丈で大きなものになっていきます。「みんな違ってみんないい」との理解が深まれば深まるほど、「FOR 2050」がすてきなものに仕上がっていきます。先週の学級組織づくりでは、ほとんどの委員会や係が立候補で決まった、中には、複数の立候補が出て、立候補者一人ひとりにその意欲を語ってもらい、投票で決めた、という学級もあったと先生方から聞きました。皆さんの積極的な姿勢は大変頼もしく、たくさんの杭が打たれているようでとてもうれしく思いました。入学式でも話をした、教育目標の一つである「心をみがく」が、具体的に

していると感じました。ぜひ、自分の思いを大切に、任期が終わったときに達成感が得られるように、果たすべき役割以上の働きをしてくれることを期待しています。果たすべき役割以上の働きをするためのキーワードは、これも教育目標の一つである「わぎを練る」です。これまで積み重ねてきた基礎的・基本的な知識・技能を基に、仲間と意見交流し、よりよい考えへとつなげて実践していきましょう。今回は、残念ながら自分がやりたかった委員や係になれなかった人、勇気が出せずに立候補を見送った人も、代わりとなってやってくれる生徒に協力し、中学校生活を自分たちの手で充実したものにしてほしいと思います。また、先週、先々週と、複数の部活動春季大会へ応援に行きました。小さな学校の大きな成果をたくさん見させてもらい、とてもうれしく思いました。中学校3年間は、将来、豊かな自己実現を図るための基礎を固める時期であり、将来を設計するための杭を打ち込む大切な段階です。先生方も、皆さんのためによりよい授業づくり、学級づくり、部活動などに努力します。皆さん自身もそのことを意識し、学習や委員会、係、部活動などに取り組んでいきましょう。

【意見交流テーマ】

「新入生にしてあげられること(2・3年)」「どのような2・3年生になりたいか(1年)」

5月7日(月)

先月は、1年生が上級生から、様々なことでお世話になった1ヶ月でした。2・3年生の皆さん、本当にありがとうございました。1年生は、移動教室や生徒総会、部活動への入部などを経て、しっかりと八中学生になりました。映画会社が言い始めたといわれるゴールデンウィーク、皆さんはどのように過ごしましたか。私は、このGW中に、「体育会イノベーション」が取り上げられていたテレビ番組を見ました。「体育会」とは、大学での部活動のこと、「イノベーション」とは、革新(新しい視点)という意味です。その番組では、この図にあるように、下級生こそ練習に集中できる環境が用意され、雑用は上級生が率先して行う、そして、その姿を4年間で学んでいくというものでした。私は、中学までは野球を、高校でラグビーを、大学では

スキーを部活動等でやってきました。振り返れば、下級生のときほど雑用が多く、その雑用がしっかりできなかったことで下級生全員が上級生に集合をかけられ、厳しく叱られてばかりいました。下級生の中には、「雑用をやるためにこの部に入ったのではない。」と去って行く部員もいました。番組で紹介されていたその部は、そのイノベーションを始めてから数年で、37年ぶりの日本一になりました。「雑用は、人間力を高める」と締められていました。番組を見ながら、ふと思いました。「八中では、このような取組を既にしている」ということに気付きました。先ほどの

図を「八中の姿」として作り直してみました。下級生が学校生活に集中できる環境を用意され、雑用は上級生が率先して行う、そして、その姿を3年間で学んでいく。いかがでしょうか。先月の1ヶ月、まさに八中は、こ

のような取組ができています。「雑用」というと、あまりよい言葉に聞こえないかもしれませんが、「周囲の人のためになる小さな仕事」と捉えるとどうでしょうか。そうです。「0と1の違い」の小さな「1」です。小さな仕事の積み重ねこそ大きな仕事になります。また、「こんな仕事もあるのか」と、新たな気付きにもつながります。周囲の人から感謝されることでコミュニケーションが生まれ、いつか困ったときに助けられます。一人でできることはたかが知れています。お互いに助け合える関係が作れば、お互いが味方になれ、更に大きな仕事ができるようになっていきます。「雑用」は、よりよいコミュニケーションを生む、「FOR 2050」の人間にしかできない貴重な仕事です。これからも「雑用」を大切にできる八中生の姿が、様々な場面で見られることを願っています。

【意見交流テーマ】

「楽しみながら体力を向上させるためには」

6月18日(月)

先月の体育祭は、3年生がリードし、2年生が盛り上げ、1年生が元気いっぱいの、笑顔の体育祭でした。学年便り等からの皆さんの感想がとてうれしく、誇りに思いました。生徒数186名に対し、475名もの参観もいただきました。サッカーワールドカップも開催しましたが、それに勝る、大あっぱれの体育祭でした。

そして、前期中間考査を終えました。いかがでしたでしょうか？ 1年生にとっては初めてのテストで緊張した人もいたことでしょう。今日からテストが返却されることと思いますが、点数に一喜一憂するのではなく、成果に自信をもつとともに、課題をしっかりと受け止め、学力の定着に結び付けましょう。

中間考査前後には、運動部活動の夏季大会、3年生にとっては最後の大会が行われました。私も数々の応援に行かせてもらいました。選手、それを支える部員、そして応援が一体となった素晴らしい試合でした。感動しました。

「FOR 2050」、皆さんが、着実に力を付けていることが実感できる試合でした。小さな学校の大きな成果がここにもありました。都大会へ出場する部もあります。八中の、そして中野区の代表です。八中全員で応援しましょう。

お知らせがあります。昨年度末、上校庭東南にある3本の桜のうち、中央にある木の根が、南側道路の土留めコンクリートブロックを押し出していることが分かりました。

既にコンクリートブロックにはひびが入り、専門家の見たてによると、大きな風が吹いた場合には、その反動でコンクリートブロックの擁壁が崩壊して滑落するとともに、桜の木がそのまま南側道路に倒れ、道路をまたいだ家屋へも損害が出るとのことでした。ましてや皆さんの登下校中であれば、皆さんが桜の木の下敷きになる恐れ



八中70年桜

もあります。開校以来約70年間八中生を見守ってきた桜の木であり残念でありませんが、安全を第一に考え、台風の時期に入る前の夏休み前半までには伐採することとしました。この写真は、この春、最後に満開となったときのもので、生きている木を、私たちの安全のために伐採します。ぜひ皆さんには、これまでの八中生の代表として、各自がその桜の木に対して、伐採までの間に感謝の気持ちを伝えてもらえたらと思います。

【意見交流テーマ】

「1時間1時間の授業に向けたよりよい準備とは」

伝統という見えないバトン

主幹教諭 吉田 昌弘

(生活指導主任・保健体育科主任・体力向上担当)

百花繚乱～Be together as one～のスローガンのもとに、天候にも恵まれ、第70回体育祭は開催されました。本番に至るまでの取組と本番当日も実行委員生徒を中心に、生徒が主役となり本当によく頑張りました。特に3年生の取組は見事で、伝統と言う見えないプレッシャーを背負いながらも自らの取り組む姿で後輩を引っ張り、立派にそのバトンを引き継ぎ大輪を咲かせてくれました。大江戸ダンス、創作ダンス、フラッグダンスにおいても短い練習時間でよくぞここまでできたと思えるような誇らしい出来映えでした。「大変だったけど、最高の体育祭でした。」「こんなにも感動できるものなんだと驚きました。」など、苦勞が大きかった分、達成感や自己有用感を味わえることができた体育祭だったと思います。



また、本校では体力向上の取組の一環としてこの体育祭で全校生徒が100m走に参加することとしています。小規模な学校であるため、一人が参加する種目も多い中、生徒一人ひとりが持てる力を存分に発揮し、思いっきり花をさかせてくれました。まさに、「一生懸命はかっこいい」ことを体現してくれました。

保護者、地域の方々に支えられ見守られれている中での中体育祭はとても熱く、温かく、記憶に残るものとなりました。深く感謝申し上げます。ありがとうございました。時代のニーズに応えながら今後も課題を改善しつつ八中らしい体育祭を開催できたらと思っています。



名物の大江戸ダンスでは、三年生だけで創作ダンスを披露する場面があります。1、2年生が翌年、翌々年の自分たちの姿と重ね合わせます。

八中では選手としてばかりではなく係り活動でも同時進行で動いています。体育祭を陰で支えることも生徒たちにとって大切なやりがいの一つになっています。



鷺宮小学校運動会ボランティア

八中の体育祭が終わって1週間後の6月2日(土曜日)に鷺宮小で運動会が行われました。今年度も八中생がボランティアとしてお手伝いに行きました。今回2年生男女合わせて7名が参加してくれました。オレンジ色の八中ボランティアシャツを身につけ、八中生のきびきびとした活躍ぶりがとても誇らしく感じられました。



女合わせて7名が参加してくれました。オレンジ色の八中ボランティアシャツを身につけ、八中生のきびきびとした活躍ぶりがとても誇らしく感じられました。



競技の準備で駆け回る八中生

第1回 小中連携教育 オープンキャンパス

6月8日（金曜日）今年度第1回目のオープンキャンパスを実施しました。鷺宮小学校、西中野小学校を連携のブロック校として今年度も連携教育を進めているところです。今回のメニューは授業見学と部活動の見学がメインになっていました。小グループに分かれて、5時間目の授業をやっている最中に教室に入り込み、



授業中にそっと小学生がはいりました。



英語の授業はやっぱり全部英語でした。



小学校とは一味違う授業の雰囲気を感じてもらいました。中学生は教室に入ってくる小学生を背にして内心ソワソワしていたことと思いますが、小学生には目もくれず、授業に集中しているようでした。後半は部活動見学を行いました。生徒会本部役員らが児童グループを引率し、各部活を回って行きました。

八中生もいつもより大きな声を出してとても張りきって練習をしているようでした。また、吹奏楽部は早くも来年の部員獲得とばかりにおもてなしの演奏を披露していました。（左写真）部活動の楽しみ方を小学生児童が感じてくれたことを期待しています。



バスケットボール部の見学の様子

祝 ソフトテニス部 団体戦 都大会出場

中野区の大会で本校男子、女子の団体が上位に残りました。7月23日からの都大会への出場権を獲得しています。がんばれソフトテニス部！！

今後の予定 7月

7月 4日（水）～ 6日（金）

3年修学旅行（奈良・京都方面）

7月 4日（水）PTA給食試食会

7月 5日（木）都学力向上調査（対象：2年生）

7月10日（火）～12日（木）2学年職場体験

7月14日（土）土曜学校公開日

道徳授業地区公開講座

※PTA文化委員会共催

道徳授業 8:45-9:35（1校時）

意見交流会 9:45-10:35

全体保護者会 10:50-11:30

7月19日（木）大掃除

7月20日（金）全校集会

※夏休み前最終日

7月21日（土）夏季休業日開始

夏季水泳教室：7月23日（月）～27日（金）

三者面談：7月23日（月）～31日（火）

夏季学習教室（前半）

7月23日（月）～27日（金）

同（後半）

8月27日（月）～30日（木）

※教科によって上記日程以外にも実施することがあります。詳細は追って通知します。